

教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

1 種目 書 写

2 報告概要

| 出版社名 教科書名 | 特 徴 |
|---|---|
| 東京書籍 新編 あたらしい しょしゃ (1年) 新編 新しい しょしゃ (2年) 新編 新しい書写 (3～6年) | <p>(1) 国語で正確に理解し適切に表現する上で必要となる「書写」の資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導事項が単元名になっているため学習のねらいが分かりやすい。2学年以上は「書写のかぎ」として、学びのポイントが示され、適切に資質・能力の育成ができるように配慮されている。 ・2学年以上の巻頭に「書写の学び方」が提示され、学習の過程が分かりやすく、児童が見通しをもって学べるよう配慮されている。 ・学習活動が、虫めがね・鉛筆・筆マークで示され、活動を理解しやすいように工夫されている。 <p>(2) 内容の程度が心身の発達段階に応じて配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2学年の教科書においては、様々なキャラクターを用いながら、学習に取り組みやすいようにする工夫が随所に見られる。3学年以上の教科書においては、学習内容に目が向くようにイラストの使用が控え目になっている。 <p>(3) 「書写に関する事項」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2学年においては、教科書に書き込む形で学習ができるような配慮が見られる。 ・既習事項が各学年の巻末にまとめられており、いつでも学んだことを振り返ることができる。 ・学年に応じた内容で、「生活に広げよう」「学びを生かそう」「文字といっしょ」という学びを広げるためのコーナーが設定されている。 <p>(4) 文字や表記等が適切であり、学習に必要な写真や図表等の資料への配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れられており、文字や表記などは適切である。 ・二次元コードにひもづいたコンテンツでは、アニメーションやシミュレーションなどの動画があり、授業の準備や学習の中で使うことができたり、何度も見直しができたりするので自主的に学ぶことができる。 |
| 教育出版 しょうがく しょしゃ (1年) 小学しょしゃ (2年) 小学 書写 (3～6年) | <p>(1) 国語で正確に理解し適切に表現する上で必要となる「書写」の資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学年「学しゅうのすすめ方」、3学年以上は「学習の進め方」という巻頭のコーナーにおいて、書写学習の進め方が示されている。 ・「考えよう」で示されたことを確認することが「ここが大切」につながり、学習活動のポイントとして気をつけることができるように構成されている。 <p>(2) 内容の程度が心身の発達段階に応じて配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の見開きページが発達段階に応じて工夫されている。1・2学年では、写真にキャラクターと児童の吹き出しがあり、3・4学年では、漫画を通して学 |

| | |
|--|--|
| | <p>びが提案され、写真と吹き出しでさらに広げ、5・6学年では、学びの広がり を示す内容が写真と吹き出しで示されている。</p> <p>(3)「書写に関する事項」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学年以上の毛筆を扱う单元では、先に筆を使って書く文字を示してから、気をつける点画の書き方について解説する編集となっている。 ・「レッツ・トライ」では、学習内容を生かして活動できる内容が提示されていて、学習が広がるように配慮されている。 <p>(4)文字や表記等が適切であり、学習に必要な写真や図表等の資料への配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まなびのリンク」と称して二次元コードが用意されている。動画や資料、ワークシートなどが用意されている。左利きの毛筆用具の置き方の資料もあり、配慮が感じられる。 |
| <p>光村図書 しよしゃ (1・2年) 書写 (3～6年)</p> | <p>(1) 国語で正確に理解し適切に表現する上で必要となる「書写」の資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年間で学習する内容が系統的に書かれているページがあり、書写の学習を受けて発展的な学習につなげやすい。 ・2学年以上の教科書では、「たいせつ」というコーナーで整った文字の書き方について留意すべき点を示している。また、巻末にはその学年で学んだ「たいせつ」をまとめたページも用意されており、振り返りがしやすくなっている。さらに、前学年までの「たいせつ」を二次元コードからアクセスできるコンテンツを通じて振り返りができるようになっている。 ・一単元一目標となっていて、学習で身につける力がそのまま单元名になっているので、学習のねらいが明確になっていて分かりやすい。 ・毛筆のページにも、硬筆用の欄があり、硬筆のことを意識させながら学習内容を定着させることができる。 ・一つの学びが見開き2ページで構成されているため、学びやすい。 ・「じをかくしせい」「えんぴつのもちかた」の説明に使われている言葉が的確で、唱えやすく、分かりやすくできている。 ・毛筆の筆使いがスモールステップで示され、筆の写真とイラスト、言葉が添えられていて理解しやすく工夫されている。 <p>(2) 内容の程度が心身の発達段階に応じて配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙面構成がすっきりしており、児童が集中して学習に取り組めるようになっている。また、指導する際に重要なポイントにも着目させやすい。 ・3学年以上の教科書において「もっと知りたい」というコーナーがあり、用具についての情報や文字の歴史や手書き文字と活字の違いなどといったことを扱い、児童が興味関心をもって学ぶことができるような編集となっている。 ・毛筆の学習では、スモールステップを積み重ねて学んでいく構成になっている。 3学年「二」(横画)→「土」(横画・縦画)→「日」(横画・縦画・折れ) ・1学年の教科書には、学年のはじめと終わりに自分の名前を書き、比較できるページがある。また、保護者からの応援メッセージを書く欄もあり、家庭との連携を図ることができる。 ・1学年の「スタートブック」では、文字を書く前に必要となることが適切に取り上げられ、分かりやすく提示されている。 ・3学年「毛筆スタートブック」では、毛筆を始めるにあたり、知っておきたいことが大きな写真と的確な言葉で見やすくまとめられている。 |

- ・ 6 学年「書写ブック」では、6 年間に学習した内容がコンパクトにまとめられており、これからの活動に生かせる資料として提示されている。
- ・ 国語科教科書と連動している部分が多くあるため、学習が進めやすい。

(3) 「書写に関する事項」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。

- ・ 日常生活に生かしやすい内容（例 4 学年「書写 広げたい」リーフレットの書き方）になっている。
- ・ 5・6 学年の教科書では、タブレット PC を利用して、自分が書いた文字を撮影し、よりよく書くために気を付けるところについて考えるように促すといった働きかけがある。
- ・ 「何を学ぶのか」「何ができるようになるのか」が明確に分かる構成になっているので、児童が主体的に考えて取り組み、充足感や達成感などが得られるようになっている。
- ・ 各学年の巻末に「たいせつ」があり、一年間で学んだことが一覧になっているので、確認したり学習に生かしたりすることができる。
- ・ 1・2 学年では、「なぞとき」「たいせつ」「ふりかえろう」が示され、なぞを解くことが大切な学びに繋がるように工夫されているページがある。
- ・ 3 学年以上では、「ねらい」「学習の流れ」「たいせつ」が一目で分かるように示されているため、見通しをもって自主的に学習が進められる。

(4) 文字や表記等が適切であり、学習に必要な写真や図表等の資料への配慮がなされているか。

- ・ ユニバーサルデザインの視点を取り入れられており、文字や表記などは適切である。
- ・ 学習に役立てるための二次元コードが、最も多く（全学年合計 A 社 124 B 社 76 光村 168）用意されており、リンク先にあるコンテンツを視聴することで、学習者が興味をもって学習することができるように配慮されている。
- ・ 文字とイラストや写真とのバランスがよく、学習しやすい構成になっている。